

第3回 IODP 成果報告会

3rd IODP Post Expedition lecture

日時：平成 19 年 5 月 25 日（金） 10:00 ~ 17:00（9:30 受付開始）
場所：東京大学海洋研究所講堂（<http://www.ori.u-tokyo.ac.jp/map/index.html>）
主催：日本地球掘削科学コンソーシアム，海洋研究開発機構，東京大学海洋研究所



独立行政法人
海洋研究開発機構



プログラム

開会挨拶

阿波根 直一
(J-DESC IODP部会執行部 / 北海道大学・大学院理学研究院)

Expedition 307 (Porcupine Basin Carbonate Mounds)

[10:00 - 11:00]

『ポーキュバイン海盆における炭酸塩マウンドの形成過程の解明』

【講演題目】

【講演者 [筆者]】

深海サンゴ礁：古海洋的背景と地質学的インパクト

狩野 彰宏（広島大学・大学院理学研究科）

ポスター発表概要 [各 5 分]

【ポスター題目】

【講演者 [筆者]】

チャレンジャーマウンドでの炭酸塩生産と起源

高島 千鶴（広島大学・大学院理学研究科）

X線CTによるポーキュバイン海盆で得られたコアの観察・解析 - IODP第 307次航海の結果の一例

田中 明子（産業技術総合研究所）

Expedition 308 (Gulf of Mexico Hydrogeology)

[11:00 - 11:30]

『メキシコ湾における堆積物中の間隙水圧上昇機構および流体移動過程の解明』

【講演題目】

【講演者 [筆者]】

Leg308メキシコ湾掘削における微生物相解析

布浦 拓郎（海洋研究開発機構）
[布浦拓郎, A. Blazejak, A. Schippers]

ポスター発表概要 [各 5 分]

【ポスター題目】

【講演者 [筆者]】

メキシコ湾Ursa Basin地域の流体移動・異常間隙圧分布の推定

相澤 泰隆（京都大学、広島大学；指導委託）
[相澤 泰隆、嶋本 利彦、IODP Expedition 308 Shipboard Scientific Party]

In-Situ Stress and Pore Pressure at Sites 1324 and 1322, the Ursa Basin, Gulf of Mexico

Nguyen Thi Thanh BINH (University of Tokyo)
[Nguyen Thi Thanh BINH, Tomochika TOKUNAGA, Hiroshi KAMEYA, Minoru TANIUE, and IODP Exp. 308 Shipboard Scientific Party]

Expedition 310 (Tahiti Sea Level)

[11:30 - 12:30]

『タヒチ島のサンゴ礁掘削試料に基づく南太平洋の過去2万年間の海洋環境の復元』

【講演題目】

【講演者 [筆者]】

深海掘削計画史上初のサンゴ礁における浅層多孔掘削
-IODP第310次航海「Tahiti Sea Level」の成果

井龍 康文 (東北大学・大学院理学研究科)

ポスター発表概要 [各5分]

【ポスター題目】

【講演者 [筆者]】

"Reconstructing reef accretion during the last
deglacial sea-level rise : I.O.D.P. #310
expedition "Tahiti sea level".Camoin, G
[Séard, C., Camoin, G., Bard, E., Borgomano, J., Deschamps,
P., Durand, N., Hamelin, B., Webster, J., Westphal, H. and
Yokoyama, Y.Microbialite-dominated coral reefs as response to
abrupt environmental changes during the last
deglacial sea-level rise. IODP Expedition #310,
Tahiti.K. Heindel
[K. Heindel, H. Westphal, G. Camoin, C. Seard, D. Birgel, J.
Peckmann and IODP Expedition 310 Scientists]

昼食 (LUNCH)

[12:30 - 13:30]

Expedition 311 (Cascadia Margin Gas Hydrates)

[13:30 - 14:20]

『カスカディア付加体でのガスハイドレートの形成過程等に関する調査』

【講演題目】

【講演者 [筆者]】

海水準面変動を反映したCascadia Margin更新統タービ
ダイト (IODP Exp. 311) の珪藻化石と有孔虫化石から
見た堆積環境と供給源について秋葉 文雄 ((有) 珪藻ミニラボ)
[秋葉 文雄, 井上 洋子, 斎藤 めぐみ]北東太平洋Cascadia margin ガスハイドレート地域の
堆積物中有機物の起源金子 雅紀
(岡山大学・大学院自然科学研究科、岡山大学地球科学科)
[金子 雅紀, 奈良岡 浩]カスカディア縁辺域における微生物・遺伝子の特徴とメ
タン生成について吉岡 秀佳・東 陽介・中村 孝道
・丸山 明彦 (産業技術総合研究所)**IODP関連 Workshop報告**

[14:20 - 14:50]

【講演題目】

【講演者】

Mission Moho WS報告

荒井 章司 (金沢大学・自然科学研究科)

南関東アスベリティー WS報告

小川 勇二郎 (筑波大学・大学院生命環境科学研究科)

ポスターセッションコアタイム (講堂横)

[14:50 - 15:10]

休憩 (Coffee Break)

[15:10 - 15:30]

IODP関連最新トピックス

[15:30 - 16:45]

【講演題目】

【講演者】

南海トラフ地震発生帯掘削で目指すサイエンス

木下 正高 (海洋研究開発機構)
[木下 正高, 木村 学, 徐 垣, 芦 寿一郎]Expedition 313
New Jersey Shallow Shelf Expedition 実施に向けて

大村 亜希子 (東京大学、海洋研究所)

Bering Sea Expedition が目指すもの
IODPにおける科学提案の状況高橋 孝三 (九州大学・大学院理学研究院)
江口 暢久 (IODP-MI)

閉会挨拶

末廣 潔 (海洋研究開発機構 理事)